

(様式 3)

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	鈴木公啓	所属	東京未来大学
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会よそおい・しぐさ研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 19 名 (うち認定心理士 0 名) 非会員 14 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>本研究集会は、よそおい (装い・粧い) やしぐさ、ふるまい等、広い範囲の外見と評価に関するテーマについて検討することを目的としている。</p> <p>2016 年度も、関東および関西それぞれに研究会開催を企画し、年間で 2 回の研究会を開催した。</p> <p>■第 21 回「オムニバス「外見による印象形成」, 「容姿の自己卑下と関係性高揚」他」 日時：2016 年 10 月 29 日 (土) 16:00~18:00 会場：聖心女子大学 2 号館 3 階 人間関係研究室 話す人：鈴木公啓 (東京未来大学) 参加者数：17 名</p> <p>■第 22 回「社会的作法としての装い」 日時：2017 年 3 月 6 日 (月) 14:00~17:30 会場：関西大学千里山キャンパス第 1 学舎 1 号館 A201 話す人：森田亜矢子 (関西大学 人間健康学部)・清水麻莉子 (名古屋大学大学院教育学研究科)・荒川歩 (武蔵野美術大学造形学部) 参加者数：16 名</p> <p>公開企画であり、他分野の研究者も含め、関連研究を紹介・共有する上で一定程度の成果が得られたと考えられる。参加人数も昨年度よりも多く、また、新規参加者もあり、当該研究テーマにおけるネットワークの構築には十分な役割を果たしたといえる。今後も地道に活動を続ける中で、本領域が心理学全体に提供できる知識を蓄積していくことを目指す。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
よそおい・しぐさ研究会				
研究集会開催日： 2016 年 10 月 29 日(土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	深谷悦子	北里大学	○	
4	鈴木公啓	東京未来大学	○	
5	荒川歩	武蔵野美術大学	○	
3	木戸彩恵	関西大学	○	
2	黒柳俊恭	元・帝京平成大学		
6	太幡直也	愛知学院大学	○	
7	小松	立教大学大学院		
8	福田哲也	上智大学	○	
9	小島弥生	埼玉学園大学	○	
10	藤澤文	鎌倉女子大学	○	
11	大嶋玲未	立教大学	○	
12	乾眞理子	華頂短期大学		
13	永房典之	淑徳大学短期大学部	○	
14	杉田秀二郎	文化学園大学	○	
15	薮理律子	江戸川大学	○	
16	菅原健介	聖心女子大学	○	
17	平井佑佳	聖心女子大学		
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2017年 3月 31日

日本心理学会研究会 2016 年度会計報告書

研究会名称 よそおい・しぐさ研究会

研究会番号 研16015

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2017年3月6日	講師謝礼 (2名 : 大学教員15000円, 博士院生5000円)	¥20,000
2017年3月6日	講師交通費 (1名)	¥10,000

支出合計 ¥30,000